



## 台湾から来日 10 年 サポーター



①何故、BLACKSOX のチャレンジテニス！に参加しようと思ったか？

参加して何年か？

・参加したのは二年半前のことでした。その時は、仕事やプライベートでいろいろありまして、心が折れそうな時でした。今思うと、誰かを助けようとするために参加したのではなく、なにか助けを求めようとしたのかもしれません。

②参加の子ども達に何か変化を感じるか？

・子供が好きなので、子供たちと楽しく接しているだけで、自分の心も癒されていました。子供たちは、例え障がいを持っていても、決して自分をかわいそうなんて思わず、くよくよしていません。一人一人、自分なりの表現があって、よくできた時でも、できない時でも、周りに一生懸命自分の声を出そうとしていました。

健常者のお子さんは、大人に言われなくても、自分はなにをすれば役に立つのかを、一生懸命探し出す姿も、私の元気の源でした。

③チャレンジテニス！に参加して自分は何か変わったか？

・母国でさえ、仕事以外のパブリック活動に参加したことがありません。この活動に参加して、自分は自分の安全領域から一歩踏み出すことができたと思います。業界もバックグラウンドも、全く接点のない沢山の皆さんと知り合う事ができたのも、大きな収穫です。

④チャレンジテニス！への感想

・日本という外国にいる私は、何年経ったとしても、自分の言語力や理解力に不安を持っていて、人前から逃げ出したい気持ちになる事が、多々あります。

周りは全部日本人で、私だけ違います！

私のことを変だと思っているに違いない！

でも、実は、外国にいなくても、障がい者でも、障がい者でなくても、誰でも、弱点を持っていて、心細い時があって、弱みを見せないように頑張っていることを、このイベント通じて感じることができました。大人も子供も、障がい者も健常者も、親もボランティアも、皆この世に生まれてきて、自分の役割を持っていて、自分の居場所をいつまでも探していると思います。人と触れ合うことで、初めて自分の存在意義を確認できるのが人間です。チャレンジテニス！はその触れ合いの場を提供してくれています。

ボランティアとしてこのイベントに参加して、いつもありがとうの言葉を頂戴しますが、本当に助けられたのは自分の方だといつも感じます。この活動に参加して本当に良かったと思っています。